

## ◆アスリート (BMX)

6歳で初めてBMXというスポーツを体験して以来、その面白さに惹かれつつ何度も転倒しては手や足に傷を負いながら練習と競技参加を繰り返し、小学校4年生からは本格的に全国のレースを周り始めました。その年の年齢別全日本選手権大会では優勝したこともありますし、年間総合優勝も経験し世界選手権に出場したこともあります。



その後の競技生活の中、アメリカに拠点を置くチームの日本チームに入らないかと誘いがあり、BMXの本場アメリカに行き世界レベルの環境での練習・競技生活を送ってきました。

2019年JBMXF大東建託シリーズ第5戦(茨城大会 11/3)で、チャンピオンシップ男子初優勝を飾り、2020東京オリンピック出場を目指して厳しい鍛錬・競技にチャレンジしてきました。しかし結果は残念ながら東京五輪出場には届きませんでした。郷土を愛するアスリートとして多くの人たちに勇気と希望を与えてくれました。



2019年JBMXF第5戦 先頭池田選手



2019年JBMXF第5戦 表彰式(優勝:池田選手)

池田さんは現在競技からは距離を置いていますが、国内一流のBMXアスリートとしてどのような形であるとも郷土BMXスポーツ発展に貢献して頂けるものと期待しています。

### <子供から大人まで楽しめるBMX>

ここ数年はストライダー(ペダルやブレーキの無い自転車)上がりの子供や、上越アクティブスポーツ協会がパティオの一角を間借りして運営しているスケートパークからの紹介で、金谷山に来る親子などが増えたとのこと。

池田さんが教えていた子供たちも、レースに出始めたり世界選手権大会に出場したりと、上越のレベルも人口も少しずつではありますが上がってきているとのことでした。



次代を担うちびっこライダー達に囲まれて (池田さん/中央)

### <BMX(バイシクルモトクロス)>

BMX(バイシクルモトクロス)は、1970年代の初頭にアメリカ西海岸を中心に生まれたスポーツで、専用自転車で、大小の異なるこぶや、バームと呼ばれるコーナーなど、数々の障害物が設けられたコースを走る競技です。高度なテクニック、バランス感覚、他のライダーとの駆け引きなどが要求され、気力・体力・知力など青少年の心身の発達にも適しています。

上越市BMX場は、国内屈指のコースで、全日本クラスの大会が開催可能です。毎年、多くの大会が開催され多くの来場者を魅了しています。

- ❖ 公式ホームページ : <https://daiki-ikeda.jimdofree.com/>
- ❖ 上越バイシクル協会 : <https://www.jbabmx.org/>